

第8講

小幡道昭

2016年6月9日

1 / 20

資本とはなにか？

2 / 20

マージンと利潤 粗利潤

- 1 基礎構造の変形バージョンとして、 $G - W - G'$ が発生。
- 2 同じ商品Wが二度売買される。
- 3 売値と買値という二つの価格が発生。
- 4 買値 = **原価**
- 5 貨幣で買ったら、マイナスの金額を記帳。商品を売ったら、プラスの金額を記帳。
- 6 売値 - 原価 = 1個あたりの差益 = **マージン**
- 7 多数のマージンの一定期間の合計額 = **粗利潤**
- 8 一定期間のプライマイで粗利潤がでてる。

3 / 20

マージンと利潤 純利潤

- 1 商品の売値・買値は単価
- 2 @ マークはもともと単価記号
- 3 1個10円なら1000個で1万円 (@10 × 1000)
- 4 マージンは単価計算ができる。
- 5 そのほかに、単価計算ができない支出がある。
- 6 店舗の費用など、個数に関係なく一定。あるいは、帳簿計算に費用など、100個でも10000個でも計算は基本的に同じ。
- 7 単価計算できない費用を **流通費用** という。
- 8 粗利潤 - 流通費用総額 = **純利潤**

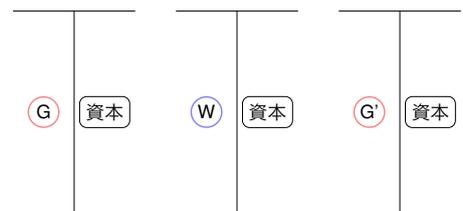
4 / 20

資本

- 1 純利潤を得るために使う、貨幣と商品（価値をもつもの）が **資本**
- 2 資本の額は純利潤を求める活動のまえに、予め確定される。
- 3 この確定が資本の **投下**。
- 4 資本は **投下** される。貨幣は **支出** される。この用語は、はっきり区別しよう。
- 5 投下された資本は、貨幣か、貨幣で評価された価格をもつ商品のすがた shape をしている。

5 / 20

運動体



6 / 20

営利企業

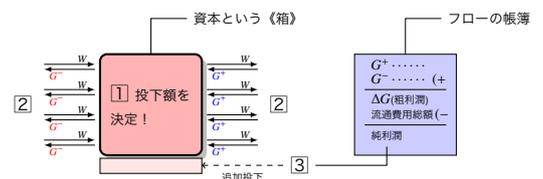
- 資本は営利企業の計算システム
- フローとしての利潤計算：損益計算書
- ストックとしての資本計算：貸借対照表
- 両者の比率が利潤率

7 / 20

資本とはなにか？ まとめ

「自己増殖する価値の運動体」

- 1 「自己」 = **投下された額** を決定する。
- 2 「運動体」 = 売 (+) 買 (-) を繰り返すことで
- 3 「価値増殖」 = **資産** の価値を高める。



8 / 20

営利企業

- 資本は営利企業の計算システム
- フローとしての利潤計算：損益計算書
- ストックとしての資本計算：貸借対照表
- 両者の比率が利潤率

9/20

まとめの問題

- 「100万円の現金を貸して120万円を返してもらう $G \cdots \cdots G'$ は資本である。」は正しいか？
- 「100万円で車を買って120万円で売る $G - W - G'$ は資本である。」は正しいか？

10/20